

1 平成21年度の重点課題に関する報告

(1) 図書館の運営、評価

図書館運営を振り返り、これからの図書館がめざすべきビジョンを明確にするとともに、地域との情報共有を図る仕組として平成20年度(2008年度)から「豊中市立図書館評価システム」(以下「評価システム」という。)を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。

平成21年度には、豊中市立図書館評価検討委員会を設置し(設置根拠:豊中市立図書館評価検討委員会設置要綱)外部評価を実施した。「評価システム」評価表 リーディング項目(以下「リーディング項目」という。)について、項目や達成目標の妥当性等を評価いただいた。(詳細については、別途報告書(「豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」平成21年8月を参照されたい。)

平成21年度については、「リーディング項目」について自己点検・評価を実施し、「平成21年度豊中市立図書館評価システム自己点検報告書」にまとめた。

図書館評価システムでは、「経営・運営・管理状況に関する評価」と「図書館の設置目的・使命の達成状況に関する評価」の側面から14の基本目標を設定し、それぞれの指標について目標値との比較等により評価を行い、現状分析と今後の取組を記した。概略は以下のとおりである。

経営・運営・管理状況に関する評価の観点では、「市民参画による運営が図られているか」と「その他の運営の健全化への対応ははかれているか」について目標値を達成した。これは豊中市立図書館評価システムが確立できたことなどを反映している。一方「市民にとって質の高いサービスが提供されているか」については目標を達成できなかった。これは、平成20年度実施の「市民・利用者アンケート調査」に現れた祝日開館についての需要の高まりと、これに対する平成21年度の状況を示した結果である。ただし、これについては平成21年度に行った検討により、平成22年度当初の祝日開館実現へつなげることができた。

図書館の設置目的・使命の達成状況に関する評価の観点では、「ITを活用した図書館サービスの向上を図るとともに市民の情報活用を支援しているか」について、評価ランクが改善できた。この理由としては、コンピュータシステムの更新により、ホームページの機能強化や携帯電話サイトなど新たなサービスを開始できたことがあげられる。

「高齢者、障害者および外国人の読書環境づくりをすすめているか」については新規開拓やPRが遅れているなど、継続した課題があるものの、外国語利用案内を作成したように、できることから形にしていく取組みをすすめていきたい。また、「市民団体・ボランティアの学習と活動を支援しているか」についても、市民団体・ボランティアの活動内容やニーズの変化にあわせ、今後とも、各団体と情報交流を積極的に行うことでサービスの充実につなげたいと考えている。

今回の評価作業全体を通して、個々のサービスに対して指標の目標値を明確にすることにより、図書館として取り組むべき課題が見えやすくなり、職員全体で課題を共有しやすくなったと感じている。また、前回評価の際に記した「今後の取組み」については、実施または一部実施したものが約8割と、業務改善につながっていると認識している。一方で、評価作業には少なからずの時間を要しており、作業方法の改善も必要と認識している。

今後さらに「評価システム」を活用して現状業務の分析と見直しを行い、効率・効果的な図書館運営を図っていきたいと考えている。

(2) 豊中子ども読書活動推進計画

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、本市では「豊中市子ども読書活動推進計画」を平成17年3月に策定、これをもとに、市や市民が協力・連携し、子どもの読書に関わる活動を具体的に推進していくために、平成18年8月に「豊中市子ども読書活動推進計画実施計画」を策定した。この実施計画に基づき、図書館や学校をはじめ保育所(園)・幼稚園などの関係機関・市民団体・市民グループが連携し、子どもがあらゆる機会と場所において、自主的に読書ができるよう、様々な事業を進めるとともに、豊中市子ども読書活動推進連絡協議会を設置し、事業の調整や進捗状況の把握など、進行管理を行っている。

近年の取組みを通して市と市民の連携が深まり、地域の課題を共有する中で図書館内の取組みだけでなく、子育てサロンやサークル、子育て支援センターなど、子育て支援にかかわる施設に出向いて絵本の楽しさを伝える講座やおはなし会が定着し、司書がその専門性を発揮する機会となっている。また図書館と推進連絡協議会が共催して「子どもと本をつなぐ地域交流会」を開催し、子ども読書活動を行うボランティアと子どもや子どもの読書に関わる学校司書、保育士、保健師、主任児童委員などが交流を深め、地域の課題を共有する場となっている。今年度は市内4地域において実施し、107人の参加があった。平成21年度が第1期実施計画最終年度であることから、地域での課題を集約し、解決するためのアイデアを募るワークショップを行った。出されたアイデアは平成22年度のワーキンググループで検討し、必要なものは第2期の計画期間に取組む予定となっている。

また平成21年度は、豊中市子ども読書活動推進連絡協議会が中心となって、今までの取組みや乳幼児健診会場および小中学生などを対象として実施したアンケート調査の結果をもとに、子ども読書活動に関する評価報告書の作成に取組んだ。(22年度中に公表予定)また子ども読書活動については、継続的な取組みが必要という連絡協議会での合意から、平成22年度から計画期間を5ヵ年延長することとし、現在の推進計画の理念をもとに、第2期の実施計画を22年度中に策定することとなった。

豊中市子ども読書活動推進連絡協議会

[1] 推進連絡協議会 委員

豊中子ども文庫連絡会、おはなしボランティアポケット、PTA 連合協議会、学校図書館を考える市民の会、地球ママくらぶのそれぞれを代表する者		
豊中市私立幼稚園連合会、豊中市民間保育園連合会、豊中市立小学校校長、豊中市立中学校校長のそれぞれを代表する者		
(財)とよなか男女共同参画推進財団、(財)とよなか国際交流協会、豊中市社会福祉協議会のそれぞれを代表する者		
市の関係部局	人権文化部	豊中人権まちづくりセンター館長、 蛸池人権まちづくりセンター館長
	こども未来部	子育て支援課長、保育課長、青少年課長
	健康福祉部	健康支援室長
	教育委員会	学校教育室長、生涯学習推進室長、 岡町図書館長

[2] 推進連絡協議会ワーキンググループ

乳幼児グループ	豊中子ども文庫連絡会、豊中市私立幼稚園連合会、豊中市民間保育園連合会 健康支援室、子育て支援センター、市立保育所、 幼児教育支援センターたんぼぼ 豊中市社会福祉協議会、図書館
小・中学生グループ	学校図書館を考える市民の会、おはなしボランティアポケット 豊中市 PTA 連合協議会、豊中人権まちづくりセンター、 蛭池人権まちづくりセンター、子育て支援課放課後こども係 青少年課、義務教育課、学校司書「小学校」、学校司書「中学校」 地域教育振興課、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ、図書館
障害のある子どもや外国人の子どものグループ	地球ママくらぶ、しいの実学園、あゆみ学園、 (財)とよなか国際交流協会、図書館

[3] 会議等開催状況

豊中市子ども読書活動推進連絡協議会

回数	開催日	内 容
第 1 回	平成 21(2009)年 6 月 11 日	平成 2 0 年度子ども読書活動実施状況の集約について 子ども読書の取り組みと今後のスケジュールについて 子ども読書活動の評価について
第 2 回	平成 21(2009)年 11 月 18 日	「平成 2 0 年度事業実施報告書(案)」について 「子どもと本をつなぐ地域交流会」について 子ども読書活動の評価について
第 3 回	平成 22(2010)年 2 月 18 日	「子どもと本をつなぐ地域交流会」について 子ども読書活動の評価について 平成 2 2 年度の子ども読書活動の予定について

豊中市子ども読書活動推進連絡協議会ワーキンググループ会議

回数		日時	内 容
第 1 回	乳幼児グループ	平成 21(2009)年 6 月 5 日	・子ども読書活動の実施経過と今後の スケジュールについて
	小・中学生グループ	平成 21(2009)年 5 月 26 日	・「子どもと本をつなぐ地域交流会」について
	障害のある子どもや外国人の子どものグループ	平成 21(2009)年 5 月 29 日	・平成 20 年度の実施状況のまとめについて

回数		日時	内 容
第2回	乳幼児グループ	平成21(2009)年 7月14日	・「子どもと本をつなぐ地域交流会」について
	小・中学生グループ	平成21(2009)年 7月16日	・「とよなかこども読書マップ」の作成について
	障害のある子どもや外国人の子どものグループ	平成21(2009)年 7月15日	・「平成20年度事業実施報告書(案)」について ・子ども読書活動の評価について
第3回	乳幼児グループ	平成21(2009)年 9月30日	・「子どもと本をつなぐ地域交流会」について
	小・中学生グループ	平成21(2009)年 10月1日	・「とよなかこども読書マップ」の作成について
	障害のある子どもや外国人の子どものグループ	平成21(2009)年 10月7日	・「平成20年度事業実施報告書(案)」について ・子ども読書活動の評価について
第4回	乳幼児グループ	平成22(2010)年 1月29日	・「子どもと本をつなぐ地域交流会」について
	小・中学生グループ	平成22(2010)年 1月21日	・「とよなかこども読書マップ」の作成について
	障害のある子どもや外国人の子どものグループ	平成22(2010)年 2月2日	・子ども読書活動の評価について ・平成22年度の子ども読書活動の予定について

子どもと本をつなぐ地域交流会

	開 催 日	参加人数	内 容
豊中市南部 (庄内・庄内幸町 高川図書館)	平成21(2009)年 10月29日	15人	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の活動紹介 ・参加者の情報交流 ・団体一覧作成 参加者の構成(読み聞かせボランティア、子ども文庫、学校司書、保健師、保育士、主任児童委員、書店主など)
豊中市東部 (千里・東豊中 図書館)	平成21(2009)年 11月13日	38人	
豊中市中部 (岡町・服部 図書館)	平成21(2009)年 10月15日	28人	
豊中市北部 (野畑・蛭池 図書館)	平成22(2010)年 1月21日	26人	

地域交流会は豊中市子ども読書活動推進連絡協議会・豊中市立図書館主催

参加者の情報交流:地域の課題を解決するためのアイデアを出し合うワークショップを実施。

(3) 市民との協働

現在、豊中市では市民との協働がすすめられているが、図書館では、市民と連携することによって、職員側からの発想にとどまらずに、さらに広い分野へとサービスを展開していく可能性が生まれてきた。また、市民の視点・経験・技術を生かしてもらうことで、サービスの充実が図られている。豊中市の図書館では、特に児童サービス、障害者サービス、多文化サービスの面において、以前から市民とともに様々な事業に取り組んできた。(p17「図書館に関わる市民の取り組み」参照)

なかでも、豊中子ども文庫連絡会は、昭和46年「子どもの本を読む会」として発足し、長年にわたり図書館の活動に関わってきた。豊中子ども文庫連絡会との協働は、古くは昭和56年からの「子どもと本のまつり」、昭和61年からの「子どもと本のつどい」など長期にわたって継続している事業をはじめ、現在では「豊中市子ども読書活動推進計画」や健診会場での「えほんはじめまして」などの取組にその力を発揮している。また、平成16年に発足した「豊中図書館の未来を考える会」との間では『豊中の図書館活動』の編集やヤングアダルトサービスについて意見交換をしている。

さらには、しょうないREK、千里コラボ市民運営会議、豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業など市民との新たな協働の形も生まれている。

今後は、市民と図書館が、共にお互いの立場を理解し、意見の相違を共有しながら、対等な立場で協働し、よりよい図書館を目指すことが課題となる。市民・ボランティアどうしが交流をほかり、図書館も協力して、資料や情報の提供とともに、地域の課題解決にむけて取り組みをすすめたい。

協働事業一覧

館名	行事名	協働団体など	開催数
岡町	図書室おはなし会	おはなしポケット	17
	えほんはじめまして (中部保健センター)	豊中子ども文庫連絡会	18
	とよなか地域こども教室	SA とよなか	11
	子どもと本のつどい	豊中子ども文庫連絡会	8
	おかまち・おやこでにほんご	おやこでにほんご	26
	子どもと本のまつり	豊中子ども文庫連絡会、おはなしポケット、(特活)国際交流の会とよなかTIFA	1
	子どもと本をつなぐ地域交流会 中部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	1
	あおぞらおはなし会	おはなしポケット	1

館名	行事名	協働団体など	開催数
庄内	えほんはじめまして	豊中子ども文庫連絡会	12
	紙芝居 すきやねんやってみたい子 集まれ!	学生ボランティア	3
	子どもと本をつなぐ地域交流会 南 部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	1
	リサイクル本販売コーナー ・ 庄 内REKサロン(陶器とりかえ隊)	しょうないREK・あかちゃんからのESD	40
	しょうないおやこでにほんご	しょうないREK(地球ママくらぶ)	39
	チャレンジ!囲碁教室、チャレン ジ!将棋教室	しょうないREK、地域市民	39
	庄内南公民分館文化祭(古本市、お はなし会)	しょうないREK、おはなしポケット他	2
	庄内まつり(古本市、おはなし会、 エスニック屋台、おばけ屋敷、昔あ そび工作、子育て相談コーナー)	しょうないREK他	6
	夏休みキッズプログラム(プリント 宿題解決コーナー他)	しょうないREK	5
	しょうない芝居小屋 ええやん演芸 会	しょうないREK	1
	秋のおはなしランドスペシャル(ス トリーテリング他)	しょうないREK、おはなしポケット	1
	とよなか市民環境展(古本市、エス ニック屋台)	しょうないREK他	2
	親子で多文化共生まつり(講演会、 ブラジルお楽しみ会他)	しょうないREK	1
庄内幸町	おはなしポケット	おはなしポケット	8
千里	えほんはじめまして (千里保健セ ンター)	豊中子ども文庫連絡会	18
	おはなしワールド	千里ストーリーテリングの会	2
	コラボまつり(千里文化センターフ ェスティバル)	千里文化センター市民運営会議、豊中子ども文庫 連絡会、千里青雲高校、第8中、ふれあいネット ワーク、豊中紙芝居の会	1
	千里コラボ市民運営会議	千里文化センター、国際交流協会、市民	7
	千里親子ふれあい広場	ESD	9
	子どもと本をつなぐ地域交流会 東 部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	1
	外国人親子の交流会(絵本を楽しも うINコラボ)	千里文化センター、国際交流協会、市民	7
	まるかじり千里ニュータウン	千里文化センター市民運営会議 千里・住まいの学校	1

館名	行事名	協働団体など	開催数
野 畑	おはなし大会	野畑おはなしの会 ミックスJAM	1
	おはなしプレゼント	野畑おはなしの会	25
	とよなか地域こども教室(てづくりあそび、たこあげ大会、のばたけ囲碁くらぶ ほか)	地域ボランティア 野畑えほんの会	31
東豊中	おはなしたんけんたい、おはなしたんけんたいクリスマス会	お話探検隊	44
	むかしあそび「つくってあそぼう」	ふれあいネットワーク	1
	外国語おはなし会	地球ママくらぶ おやこでにほんご	2
	大人のための朗読サロン	朗読グループ「草の実会」	4
	東豊中図書館落語会「ニノ切寄席」	噺の会じゅげむ	1
服 部	おはなしポケット(1才~3才・4才以上・小学生)	おはなしポケット	66
	はっとり寄席	市民	1
	モノづくり教室	SA とよなか	2
高 川	おはなしくらぶ(0~1歳半まで・4歳~・高川小放課後子どもクラブ)	おはなしポケット	81
	紙芝居ボランティア(紙芝居会・練習会)	おはなしポケット	12
	とよなか地域こども教室	SA とよなか	14
蛭 池	おりがみ教室	市民	21
	人権・平和月間事業(であい・ふれあい大賞作品展、表彰式)	子育てふれあいの会	2
	おはなしもこもこ	おはなしポケット	48
	子どもと本をつなぐ地域交流会 北部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	1

図書館関係団体

<豊中子ども文庫連絡会>（通称：豊子連）

図書館では、豊中子ども文庫連絡会と連携し、例会を通じ情報共有し、様々な取組みをともにやっている。市内4か所で毎月実施されている4か月児健診会場での取組み「えほんはじめまして」にご協力をいただき、日々の意見交換の他、保健師との打ち合わせ等の場で情報交流を行い、内容の充実をはかっている。また、この「えほんはじめまして」をきっかけに子ども文庫を訪れる乳幼児連れの保護者も増え、安心して通える地域の居場所となっている。しかし、地域によっては、文庫を訪れる子どもや世話人の数が増えないという実情もあるようで、文庫の活動をより広く知ってもらえるよう、これからもPRに努めたい。

共催事業としては平成21年度も「子どもと本のつどい」を実施した。坂本廣子さん(食育・料理研究家)の講演会や松橋利光さん(写真家)による講演、写真展、小学生向けの生きものの持ち方ワークショップを行った。このほか毎年夏休みの時期には、おはなし会や手づくりあそびを行う「子どもと本のまつり」を共催している。ここには、「おはなしボランティアポケット」や「(特活)国際交流の会とよなかTIFA」など他の市民グループの協力も得ており、普段は別々に活動している様々な図書館関係団体がひとつの行事に関わることで、子どもの読書に関わる者どうしが広くつながり、連携を深めるきっかけともなっている。

また、毎年実施される豊子連講座は図書館が後援しており、関連資料の貸出や事前準備、当日の運営等で協力している。平成21年度はさいとうしのぶさん(絵本作家)の講演会、田中文字子さん(子ども情報研究センター所長)の講演会、二川英一さん(木版画家)による講演とトーテムポール作りという内容で行われた。

<おはなしボランティア>

読み聞かせボランティア講座として「子どもと本をつなぐボランティア講座」、「学校における読み聞かせボランティアバックアップ講座」、および活動を継続されているボランティアのスキルアップの機会とするために、「おはなしボランティア・フォローアップ研修講座」を実施した。

さらに地域でのボランティア活動を活性化するため、市内4地域で「子どもと本をつなぐ地域交流会」を実施した。交流会では地域の課題を共有し、解決するためのアイデアを出し合うなど、様々な子ども読書に関する情報交換の場となった。交流会にはボランティアを始めたい、子ども文庫を開きたいなど、様々なニーズをもった市民が参加され、市内で活動をしている各団体に出会い、新しい活動を始める足掛かりとなっている。

また岡町図書館では「高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座」を実施し、高校生や大学生が読み聞かせを通じて、地域の中でボランティア活動をおこなうきっかけになっている。庄内図書館や高川図書館では中・高校生や大学生が紙芝居ボランティアとして読み聞かせの活動に参加している。

<おはなしボランティアポケット>（通称：おはなしポケット）

平成5年に始まった図書館主催の「おはなしボランティア養成講座」修了生によって結成され、小学校の放課後こどもクラブや市内の図書館・図書室で、絵本の読み聞かせを中心としたおはなし会を行い、地域で子どもに本を手渡す活動を続けている。また、「子どもと本をつなぐボラン

ティア講座」、「高校生・大学生のための読み聞かせボランティア講座」、紙芝居ボランティアの指導については、ここ数年、おはなしボランティアポケットのメンバーに講師を務めていただいている。平成21年度には、記念誌『子どもと本をつないで 17年の歩み』をまとめられた。

< 音訳・点訳・対面朗読ボランティア >

録音図書、点字図書の作成や対面朗読サービスにおいて、ボランティアグループ（「大阪声のグループ」、「豊中点訳会」、「音訳ボランティア グループエコー」、「対面朗読ボランティア ヴォイス」）に協力していただいている。図書館では、音訳ボランティアフォローアップ研修講座の開催や、録音図書の著作権許諾手続き等を行い、集会室の提供・情報の提供など、その活動を支援している。

平成21年度「24 時間テレビ」から障害者サービス用機器一式の寄贈を受け、ボランティアグループに使用方法の講習を行った。

対面朗読件数 123 回

音訳ボランティアフォローアップ研修講座 2 回 参加人数 17 人

音訳ボランティア例会 11 回 （毎回職員が事務連絡のため出席する）

著作権処理件数 96 件

（「著作権法の一部を改正する法律」が平成22年（2010年）1月施行され、図書館においても障害者のために、権利者に許諾手続きを必要とせず著作物等を利用できることになり、今後録音図書の著作権許諾手続きは原則的には不要となった。）

< 千里コラボ市民運営会議 >

平成20年2月、千里文化センター「コラボ」の開館を機に、同年7月に設置された。学識経験者、公募市民、各施設長（市職員）で構成されている。図書館・公民館・老人福祉センター・保健センター・市役所出張所・多目的スペース・屋上庭園で構成される多機能施設の機能を組み合わせ、千里地区における「生涯学習」「文化創造」「行政サービス」の拠点として、また、「市民公益活動の促進」の場として、事業のあり方や実施・評価手法などを検討する場となっている。

なお、その前身には、教育委員会が市民参画を求めて設置した「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」があり、コラボの開館準備段階（平成17年9月～平成19年11月）において、コラボの管理運営のあり方等について提言がまとめられた。

平成21年11月には、プレ事業の一つとして、「まるかじり千里ニュータウン」を協働開催。スライド上映会「千里ニュータウンってどんな街？ “これまで”と“これから”」や、まち歩き「もっと知りたい千里ニュータウン」、写真展を行った。

< 朗読グループ「草の実会」 >

東豊中図書館開館直後の平成6年より、東豊中図書館で年4回朗読会「名作を楽しむ一大人のための朗読サロン」を開催し、地域の催しとして広く市民に親しまれている。平成21年度には、岡町図書館で開催した文字・活字文化振興事業「市民のための平家物語」にも協力いただいた。

しょうないREK

正式事業名：「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」(平成19年10月「しょうないモデル事業実行委員会」から改称)

平成16年度の協働事業提案制度で豊中市との協働事業が成案化され、庄内図書館3階でリサイクル本販売コーナーが開設されて5年が経った。

当初、図書館の持つ機能の充実が求められるなか、場所の提供だけでは協働の意義は弱いことから、地域課題や地域特性に密着した展開が必要になった。少子高齢化は庄内地域においても顕著で、阪神・淡路大震災、経済不況などにより、庄内の魅力である親しみやすさ、包容力や多様性などが薄れ、人と人の関係が希薄になっていた。

そのような状況で、地域の抱える課題として「子どもの安全な居場所づくり」「在住外国人との共生」「地域の活性化」「環境にやさしいまちづくり」などがあげられた。また、事業の柱として「イベント」「常設事業」(リサイクル本販売)「情報発信」(瓦版)を行うため「しょうないモデル事業実行委員会」を立上げ、展開していくことになった。ひとつひとつが大きな課題ではあるが、地元の人たちとの出会いやつながりを大切に、協力しながら事業を進めていきたい。

協働事業を支えるものとして「しょうないREK」のメンバーは『安全で安心して暮らせる、元気いっぱいのまちにしたいという地域の方たちの深い思いがあり、協働というテーブルにいた人たちは、それぞれの目的が違って、その思いの深さはなんら変わりはない。それぞれの思いが合致し、その思いに後押しされることで「しょうないREK」は現在まで育ってきたのです』と語っている。

これからも地域の課題を共有し、地域の人たちと交流しながら、新しいつながりを生み出し、広がりを築いていきたいと考えている。

R = リサイクル(常設) E = イベント K = 瓦版(情報)



< しょうないREK事業一覧 >

・しょうないREK 実行委員会 (庄内文化センター) 10回

・イベント主催

事業名		実施回数・実施日	参加人数
図書館リサイクル本の販売(毎週火曜日)		37回	2288人
多言語情報コーナー・外国語資料展示/貸出(協働事業コーナー)		図書館閉館日 (10時~17時)	
夏休み キッズプログラム	プリント宿題解決コーナー 自然工作教室 まち歩きワークショップ みんなでおばけやしきをつくろう!	7/23・24	120人
ええやん! 演芸会	落語 芝居 殺陣とチャンバラ体験 昔話と三味線民謡 浪曲奇術 ポリビアダンス アニメソング	11/15	80人
親子で多文化共生まつり	第1部 講演会&クイズ&アニメ視聴「子ども目線で考える地域の国際化とは」/金生遼 第2部 ブラジルお楽しみ会(ポルトガル語による紙芝居、サンバの踊り) 第3部 ブラジルカフェ(ブラジルのケーキと飲み物) ほか	1/30	63人
チャレンジ! 将棋教室	毎週日曜日の午前中に開催(将棋教室/第1・3日曜、囲碁教室/第2・4日曜)市内の小学生・中学生とその保護者が対象	19回	135人
チャレンジ! 囲碁教室		20回	181人

・イベント共催

しょうないおやこでにほんご	外国人親子のための日本語学習サークル	39回	507人
陶器とりかえ隊	家庭で不要になった食器(陶磁器)の回収・提供	6/23 9/29 1/26	170人

・イベント参加

事業名		実施日	参加人数
庄内南公民分館文化祭	古本市 おはなし会	8/2	89人
庄内祭り	昔あそび工作教室 古本市 おはなし会 おばけやしき エスニック屋台 REKブース・子育て相談コーナー	8/19	722人
とよなか市民環境展	古本市 エスニック屋台	12/12	229人

・情報誌「ええやん!しょうない」(瓦版)発行

発行日・号数	内容
平成21年7/6 夏休み特別号	日常生活密着型地図「ええやん!しょうないMAP~夏祭り編~」ほか夏のイベント情報
平成21年12/20 12号	わがまち庄内(その4)私のこどものころ/森本吉道 日常生活密着型地図「ええやん!しょうないMAP~正月の初詣に行く神社ってこんなところ編~」 ええやん!しょうないリレーエッセイ/田中逸郎 ブラジルのケーキ菓子のレシピ 平成20年度会計報告・平成21年度予算 しょうないREK イベント報告 ほか
平成22年3/31 13号	わがまち庄内(最終回)私のこどものころ/森本吉道 祝!5周年ええやん協働~しょうないREK5年の軌跡 これからの協働を考える/代表 小池繁子 ええやん!しょうないリレーエッセイ/佐野健二 図書館員アフリカへ行く(その1) 豊中市の図書館カウンターで多言語の対応ができるようになりました しょうないREK イベント報告 ほか

豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業

この事業は、平成21年度文部科学省「図書館・博物館における地域の知の拠点推進事業」を近隣市である豊中市及び箕面市で受託し豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業実行委員会を設置し共同で取組むものであった（契約期間平成21年8月12日～平成22年3月10日）。この事業を実施し、近隣市と広域連携し取組むことで行政区域を越えた地域情報を収集・発信することができ、行政区域に依存しない住民の生活圏の情報・地域ニーズに即した形を目指した。

・事業の目的

図書館は、地域情報センターとしての役割を担うなかで、地域における様々な情報を収集・発信し、住民からの問合せ業務に対応している。そこで、図書館が地域の「知」の拠点として、Web2.0によるICT（Information and Communication Technology）及び図書館情報システムを活用して、地域情報の収集・発信を行うための仕組みを実現し、住民の生涯学習を支えるための基盤整備及び地域コミュニティの活性化に資することを目的に、この事業を行うものとする。

・事業の概要

オープンソースのコンテンツマネジメントシステム(CMS)の一種である“ウィキ(Wiki)”を活用し、いつでも・どこでも・誰でもが情報の閲覧・投稿ができる地域の「知」のポータルサイトをインターネット上に構築する。具体的には、「わがまちの記憶を記録に」を理念として、市が保有及び各家庭に眠る「写真」の掘りおこしと、近代資産、市史及び地域にゆかりのある情報のデジタル化を行い、市と住民の協働による地域情報の百科事典となる「北摂アーカイブス」を実現する。

・豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業実行委員会

豊中市、箕面市、市民団体及び学識経験者からなる実行委員会では、事業の方針その他の事業の実施に係る検討及び決定を行った。

*実行委員会スケジュール

	日時	場所	内容
第1回	9月1日	豊中市	1 自己紹介 2 豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業の概要について 3 平成20年度「住民参加によるウィキ型地域情報データベース構築に関する調査研究」の結果と当実行委員会での検討内容について 4 収集する地域情報の範囲について 5 ボランティアの募集について
第2回	10月2日	豊中市	1 収集する写真の範囲について 2 地域フォトエディター（サポーター）の募集について 3 その他
第3回	11月6日	箕面市	1 新委員紹介 2 今年度収集する写真の範囲の決定について 3 写真の分類方法について 4 サイト利用規約について 5 地域フォトエディターのデータ入力サポート支援の人材募集について 6 丹波篠山インターネットTVの視察
視察	11月12日	篠山市	丹波篠山インターネットTVの視察
第4回	12月24日	箕面市	1 現状の経過報告について 2 利用規約（案）について 3 豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業報告骨子（案）について 4 その他
第5回	1月27日	豊中市	1 北摂アーカイブスのインターネット公開（作業報告）について 2 アンケート（案）について 3 報告書骨子（案）について
第6回	2月10日	豊中市	1 北摂アーカイブスのインターネット公開について 2 アンケート（案）について 3 報告書（案）について 4 平成22年度以降の取組について
調査	2月20日		インターネットアンケート調査「インターネットと地域情報」を実施
第7回	3月3日	豊中市	1 アンケート結果について 2 報告書（案）について 3 豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業の振り返りについて

・地域フォトエディター

地域フォトエディターは、豊中市18名、箕面市7名となった。この内、図書館司書の有資格者は各市とも1名ずつである。地域フォトエディターには、次の2つの役割分担がある。

写真担当：ホームページに掲載する写真の収集や整理をしてもらう。地域の今と昔の写真を見ながらの活動になる。写真の写し方なども学ぶことができる。

ホームページ担当：ホームページの作成や運用管理に協力をしてもらう。インターネットに関する知識やホームページの作成などの知識を基礎から学ぶことができる。

地域フォトエディタースキルアップ講習をへて12月から2月にかけて図書館を活動拠点に撮影、写真のデジタル化及びホームページのデザインを担った。

・事業の成果/実績

北摂アーカイブス (http://wiki.service-lab.jp/lib_toyonaka/) を成果物として公開した。新聞報道、図書館ホームページ、広報誌など市が保有する媒体を活かし住民への広報活動を行った。さらに、豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業報告書を作成し委託事業の成果を取りまとめた。

*事業実績

掲載媒体	掲載日時 / 掲載号	内容など
広報とよなか	平成 21 年 9 月号	文部科学省の委託を受け事業を開始。
広報とよなか	平成 21 年 11 月号	市民ボランティア・地域の写真の募集。
産経新聞 (北摂版) p20	平成 21 年 11 月 13 日	アーカイブ化事業開始とボランティア・写真の募集
広報とよなか	平成 22 年 3 月号	北摂アーカイブス公開
もみじだより	平成 22 年 3 月号	北摂アーカイブス公開
「かたらいプラザ」 (豊中・池田コミュニティーチャンネル)	平成 22 年 3 月 1 日 ~ 7 日	市政ニュースとして紹介
毎日新聞 (北摂版) p25	平成 22 年 3 月 3 日	北摂の今昔 HP で
図書館における最新ニュース「カレントアウェアネス」(CA-R)	平成 22 年 3 月 3 日	北摂アーカイブス公開 http://current.ndl.go.jp/node/15874
産経新聞 (北摂版) p22	平成 22 年 3 月 15 日	懐かしの北摂 HP で写真 100 点

・事業の課題

写真の収集では、テーマを絞ったことで、団体からの収集が中心となった。このため、写真を所有しておられる個人の方へのアプローチが課題となった。今回は、公開を中心に議論を進めたため、写真の「メタデータ」*については、国立国会図書館等のデジタル化の流れを踏まえ、入力していくべき項目を今後精査していかなければならない。最後に、公開する際の提供情報の信憑性や検証方法についてさらにその方針や仕組みを議論する必要がある。

*「メタデータ」: データについてのデータ。あるデータそのものではなく、そのデータに関連する情報のこと。写真ならば、撮影年月日、撮影場所、機種、データ形式などが考えられる。データを効率的に管理したり検索したりするための重要な情報である。

図書館に関わる市民の取り組み

- 昭和 35 年(1960 年) 12 月 「動く図書館利用者の会」発足(昭和 53 年 4 月「図書館利用者の会」に改称)(庄内図書館開館)
- 昭和 38 年(1963 年) 2 月 「とよ読書会」発足
- 昭和 41 年(1966 年) 8 月 「豊中読書会」発足
- 昭和 46 年(1971 年) 2 月 「子どもの本を読む会」発足(同年 5 月「豊中子ども文庫連絡会」に改称)
- 昭和 47 年(1972 年) 6 月 「千里(豊中地区)に図書館をつくる会」発足(千里図書館開館)
- 昭和 50 年(1975 年) 「そよ風文庫をそだてる会」発足
- 昭和 51 年(1976 年) 「豊中子ども文庫連絡会」が「子どもと本のつどい」を開催(昭和 61 年から図書館との共催事業)
- 昭和 55 年(1980 年) 4 月 「豊中子ども文庫連絡会」が社会教育関係団体となる
- 昭和 56 年(1981 年) 7 月 「子どもと本のまつり」を「豊中子ども文庫連絡会」と共催
- 昭和 61 年(1986 年) 2 月 「身近にとしょかんがほしい会」発足(野畑図書館開館)
- 平成 元年(1989 年) 11 月 「どうしても図書館が欲しい会」発足(東豊中図書館開館)
- 平成 3 年(1991 年) 10 月 対面朗読グループ「ヴォイス」結成
- 平成 4 年(1992 年) 6 月 「暮らしの中に生きる図書館を望む会」発足(服部図書館開館)
(「学校図書館を考え専任司書配置を願う市民の会」発足)
- 平成 5 年(1993 年) 10 月 音訳ボランティア「グループ・エコー」結成
- 平成 6 年(1994 年) 1 月 おはなしボランティアグループ結成(後に「おはなしポケット」と命名)
- 平成 13 年(2001 年) 5 月 「豊中子ども文庫連絡会」結成 30 周年を迎える
- 平成 16 年(2004 年) 5 月 「豊中図書館の未来を考える会」発足
- 8 月 「地球ママくらぶ」が「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」を協働提案
- 「豊中図書館の未来を考える会」が「千里のまちにふさわしい図書館構想をつくる 人と情報、人と人を繋ぐ図書館」を協働提案
- 平成 17 年(2005 年) 7 月 「しょうないモデル事業実行委員会(しょうない REK)」立ち上げ(平成 19 年 10 月「しょうない REK」に改称)
- 9 月 「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」設置
- 平成 18 年(2006 年) 9 月 市政施行 70 周年記念「とよ読書会」500 回記念講演会開催
- 平成 19 年(2007 年) 1 2 月 「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」提言提出
- 平成 20 年(2008 年) 5 月 住民参加によるウィキ型地域情報データベース構築に関する調査研究開始
- 平成 21 年(2009 年) 9 月 「豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業実行委員会」立ち上げ

豊子連・ボランティアグループ・読書会等の紹介一覧

<p>子どもの読書支援</p> <p>子ども文庫(*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫)</p> <p>*おひさま岡町文庫</p> <p>*おひさま文庫 くれよん文庫</p> <p>*Keiおばさんの本の部屋文庫 月よう文庫</p> <p>*サークル文庫</p> <p>*そよ風文庫</p> <p>*つみ木文庫</p> <p>*ともだち文庫</p> <p>*仲よし文庫</p> <p>*にじいろ文庫 プーさん文庫</p> <p>*豊松園文庫</p> <p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ お話探検隊</p>	<p>読書会</p> <p>つぐみ読書会 ともしび とよ読書会 豊中読書会 原田読書サークル ふうせんかずら フェアリーおばさんの会 むらくさ読書会 木曜読書会</p>
<p>障害者・高齢者読書支援</p> <p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー ヴォイス</p>	<p>朗読グループ</p> <p>草の実会</p>
<p>多文化読書支援</p> <p>おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご</p>	<p>その他</p> <p>豊中市立図書館利用者の会 豊中図書館の未来を考える会 学校図書館を考える市民の会 しょうないモデル事業実行委員会(愛称:しょうないREK) 豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業実行委員会</p>

(4) 広告事業・ホームページ等の充実

図書館は、地域の情報センターの役割を担い、市民の要望に応え、地域に必要な施設を目指して平成21年度次の通り広告・広報活動を実施した。さらにその基礎として、最新のICT (Information and Communication Technology) ツールを活用したサービスも展開した。

レシート広告～初金市～

図書館では、市の方針のもと、地域経済の振興及び広告事業の一環として、岡町図書館で本を借出した人を対象に、岡町・桜塚商店街で催される第1金曜日にお得な「初金市」1店舗分として利用できるレシートを発行した。平成21年10月より試行し、平成22年3月まで計6回のレシート広告を実施した。

* 発行レシート例

お買い物は地元、岡町・桜塚の商店街で♪

本日のレシートは、おかまちの商店街で毎月第1金曜日開催する「初金市」に1店舗分としてご利用いただけます。

有効期限：2009/10/2

.....岡町・桜塚商業団体連合会.....
初金市に関する問合せは 06-****-****

貸出票
** 図書館

貸出館電話番号：**-****-****

利用者番号：*****
現貸出数：*冊

●●●●●●●● . ▲▲▲▲

【館】**
資料番号：*****
(貸出日：2009/09/08 - 返却日：2009/09/24)

これから1カ月の休館日
09/14,09/21,09/22,09/23,09/28,10/05

2009/09/08 15:15 発行

* 新聞報道

産経新聞(北摂版)平成21年10月2日(金) 「図書貸出票はクーポン券」

バナー広告

平成21年3月、図書館リブレイスにより新しくなった図書館ホームページでは、トップページと蔵書検索画面にバナー広告スペースを設けて募集。契約期間を原則3ヶ月とし、合計6社の掲載をおこなった。

・アフィリエイト広告

バナー広告を提供するオンライン書店と連携し、「広告効果をあげること」と「利用者の利便性を向上させること」という観点から蔵書検索の結果、書誌詳細画面からオンライン書店にリンクして資料の表紙画像が閲覧できるようになった(平成21年8月開始)。

また、利用者が、図書館ホームページを経由して資料を購入した場合、商品の本体価格のうち

購入者に1%、図書館に3%のポイントがそれぞれ還元される契約(制度)を結んだ。平成22年3月には図書館に還元されたポイントを利用し資料を購入、図書館資料として活用している。

*新聞報道

大阪日日新聞 平成21年10月7日(水) 「オンライン書店と提携」

車体広告(動く図書館)

民間企業等の協力によって豊中市の新たな財源を確保し、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図ることを目的として、「豊中市立図書館広告掲載取扱要綱」に基づき、豊中市立図書館の動く図書館車に広告枠を設置した。平成21年11月より1年の契約で車体広告を開始し、現在市内各地域を巡回している。

豊中市立図書館メールマガジン

平成21年12月より、豊中市からの生活に役立つ情報を豊中市立図書館メールマガジンとして配信。「イベント情報」、「図書館案内」、「定期配信(新着案内)」の3種類を用意し、年度末までに以下のメールマガジンを配信した。

今後も図書館だけでなく各部局と連携し、地域の役立つ情報を多くの人に配信していきたい。

*豊中市立図書館メールマガジン詳細(平成21年度)

種類	発行日	内容	発行数
イベント情報	1月 5日 2月 23日 3月 24日	野畑図書館「書庫には入れるDAY」 岡町図書館「市民のための平家物語」 野畑図書館「書庫には入れるDAY」	3
図書館案内	2月 2日 3月 4日 3月 5日	花とみどりの相談所からのお知らせ 花とみどりの相談所からのお知らせ 北摂アーカイブス公開	3
定期配信	毎月 25日	豊中市立図書館新着案内を定期的に配信 利用者自身で希望のジャンルが選択できる。	4